

専門領域別研究発表 | 専門領域別：体育経営管理

⌚ 2025年8月29日(金) 11:10 ~ 11:49 🏢 2204教室(教育研究棟 2街区 2階 2204)

[3a1004-05] 体育経営管理／口頭発表②

座長:山本 悦史(新潟医療福祉大学)

11:10 ~ 11:29

[06経-口-04]

官民協働によるボールパーク建設とスポーツまちづくり
北海道ボールパークFビレッジの事例研究

*松橋 崇史¹ (1. 拓殖大学)

11:30 ~ 11:49

[06経-口-05]

スタジアム・アリーナ改革とソーシャルイノベーション
地域・コミュニティの革新の視点から

*平山 友梨¹ (1. 立命館大学院経営学研究科)

専門領域別研究発表 | 専門領域別：体育経営管理

2025年8月29日(金) 11:10 ~ 11:49 2204教室(教育研究棟 2街区 2階 2204)

[3a1004-05] 体育経営管理／口頭発表②

座長:山本 悦史(新潟医療福祉大学)

11:10 ~ 11:29

**[06経-口-04] 官民協働によるボールパーク建設とスポーツまちづくり
北海道ボールパークFビレッジの事例研究***松橋 崇史¹ (1. 拓殖大学)

2010年代以降、プロクラブの本拠地となるスタジアム・アリーナの新設・増改築が積極的に進められ、そこを本拠地とするプロクラブの収益増加と経営安定および、付随する社会的経済的効果の創出が期待されてきた。新たなスタジアム・アリーナの整備が、特定の主体の収益増加に結び付くことが期待される一方で、それが「スポーツまちづくり」（高岡・松橋、2025）に結びつくかどうか、また、それを促すための方法論は曖昧なままである。本研究では、2023年シーズンよりプロ野球球団の北海道日本ハムファイターズ（以下、ファイターズと略す）の本拠地として利用されているエスコンフィールドHOKKAIDOとそれを中央に有する北海道ボールパークFビレッジに着目し、Fビレッジの建設を可能としたファイターズと北海道北広島市の協働関係に焦点をあてる。ファイターズと北広島市の協働関係の中で、Fビレッジ建設を構想し、主導した主体が、それを取り巻く「制度」にどのように制約、促進され、同時に変更を迫りながらFビレッジの建設を推進し、そのことが完成後のFビレッジを介した「スポーツまちづくり」にいかなる影響を与えたのか把握する。本研究では、2018年以降のファイターズと北広島市の関係者に対するインタビュー調査と文献調査のデータを用いる。スポーツまちづくりには地域の自治体、企業、団体、市民等の多主体の関与とそれらの価値創造が求められる。北広島市がFビレッジ建設に当初から深く関与し、そのために必要な役割をファイターズとの対話の中で担っていったこと、および、スポーツまちづくりに係わるファイターズ側の制度設計が、Fビレッジを介した地域の多主体の関与とそれらの価値創造を促したのかどうかを検討する。＜参考＞高岡敦史・松橋崇史（2025）．スポーツまちづくりの定義．体育スポーツ経営学研究，38：1-18

⌚ 2025年8月29日(金) 11:10 ~ 11:49 🏢 2204教室(教育研究棟 2街区 2階 2204)

[3a1004-05] 体育経営管理／口頭発表②

座長:山本 悦史(新潟医療福祉大学)

11:30 ~ 11:49

**[06経-口-05] スタジアム・アリーナ改革とソーシャルイノベーション
地域・コミュニティの革新の視点から***平山 友梨¹ (1. 立命館大学院経営学研究科)

今日の日本では、サービスビジネスが果たす役割も大きく、中でもスポーツ産業には、国民生活に潤いを与え、人々の健康の維持・向上や地域への一体化、コミュニティ意識の高揚等個々の意識を育み、地域社会ににぎわいや雇用をもたらすとともに、観光や建設、流通等地域経済及び他産業を活性化させる可能性がある。特に、プロスポーツビジネスのコアとなる試合が行われるスタジアム・アリーナを基盤としたビジネスは、大きな収益を生み出す場であるとともに、優れた経験価値提供の場でもある。多様なステークホルダーと関わるプロスポーツ組織は、効率的かつ効果的なマネジメントを発揮し、ステークホルダーと協働し、社会が円滑に機能するようスタジアム・アリーナに期待される有用性を発揮、実現していかなばならない。その状況にあって国は、地域活性化や地方創生の実現に資するスタジアム・アリーナの潜在力を最大限発揮すべく、関係省庁と連携し、スタジアム・アリーナ改革ガイドブックの公表や、整備構想・計画の策定支援等に取り組んでいる。例えば、スポーツ庁の支援事業として、サガン鳥栖（男子サッカー）と株式会社共同通信デジタルとのVR技術を活用したスポーツ体験による子供の運動習慣を育む事業等がみられる。そこで、本研究では、わが国のスポーツ政策の変遷、とりわけ2010年スポーツ立国戦略に沿って論を進め、海外の事例も参考にしつつ、今日における地域・コミュニティの重要性とそこでプロスポーツが果たすべき役割について検討する。プロスポーツ組織の地域・コミュニティ創造への貢献実態、地域の社会経済的特性とスポーツ組織の関係性、スタジアム・アリーナを核とした都市・地域の動態的な変化について、経済的・社会的影響を可視化することを目指す。また、複数の事例を比較対象とし、共通する構造と地域固有の要因を抽出することで、広く一般に活用可能な知見を検討する。